

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

トーヨーカネツ株式会社（証券コード: 6369）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB
安定的

■格付事由

- (1) 物流システムを提供する物流ソリューション事業を主力とする。コンサルティングから設計、開発、製造、施工、メンテナンスまで一貫して対応できる点に強みを持つ。生協や卸、電子商取引業者向けの倉庫内物流設備や、空港向けの手荷物搬送システムなどで高い競争力を有する。また、貯蔵タンクの建設/メンテナンスなどを行うプラント事業、環境・防災ソリューションの提供や産業機械の製造/販売などを手掛けるみらい創生事業を展開する。27 年 4 月に会社分割による持株会社体制への移行を予定している。なお、事業を承継する子会社は当社の完全子会社であり、連結ベースでみたグループ信用力への影響はない。今後は、各事業会社に対するガバナンスの在り方や資金調達構造などを確認していく。
- (2) 業績は底堅く推移している。物流ソリューション事業では、大型案件に一服感が見られるものの、中小型案件やメンテナンスが業績を下支えしている。プラント事業も国内製油所向けのメンテナンス需要を着実に取り込み、安定して利益を確保している。こうした収益構造に大きな変化は見込まれず、当面も現状程度のキャッシュフロー創出力を維持できるとみられる。財務構成は良好であり、今後も財務健全性が大きく損なわれる懸念は小さい。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 27/3 期の営業利益は 40 億円（前期比 11.7%増）を計画している。物流ソリューション事業の回復や、みらい創生事業において M&A で取得した子会社の業績が通年で寄与することなどが要因である。物流ソリューション事業での事業領域拡大ならびにみらい創生事業の収益基盤の確立によって、利益水準の底上げが進むか注目していく。
- (4) 27/3 期第 1 四半期末の自己資本比率は 54.3%（26/3 期末 58.0%）と財務の健全性は維持されている。中期経営計画（26/3 期～28/3 期）では、物流および環境・防災領域への成長投資、研究開発・人的資本投資を積極的に実施する方針が掲げられている。ただ、自己資本比率 50%程度、D/E レシオ 0.8 倍未満とする財務規律を重視する方針などから、財務リスクが高まる懸念は小さいと考えられる。

（担当）里川 武・田島 祥

■格付対象

発行体：トーヨーカネツ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年8月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「機械」（2025年2月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） トーヨーカネツ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル